

令和3年度 合同地区会 開催

東日本地区会/関東地区会/東京A地区会/東京B地区会/東京C地区会/東京D地区会

令和4年2月7日、東日本地区会・関東地区会・東京A地区会・東京B地区会・東京C地区会・東京D地区会合同で令和3年度地区会をオンライン開催し、200名が参加した。

第一部の会議は、東日本地区会 佐々木隆年代表幹事（株式会社HBA 執行役員常務）、関東地区会 井上清美代表幹事（(株)ブリリアント 代表取締役）、東京A地区会 中村元代表幹事（JFEシステムズ(株) 取締役常務執行役員）、東京B地区会堀口信一代表幹事（TIS(株) 専務執行役員）、東京C地区会 山田英司代表幹事（日本電子計算(株) 代表取締役社長）、東京D地区会 伊藤整一代表幹事（(株)網屋 代表取締役会長）の挨拶で始まった。

まず、経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課長・ソフトウェア情報サービス戦略室 課長補佐 沖藤圭祐氏から、デジタル産業への変革に向けた研究会でのDXレポート続編についての検討状況などについて説明があった。

次に、宮本武史JISA副会長・専務理事が、情報産業振興議員連盟総会やパートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化会議における政府への働きかけ、地方創生テレワーク推進パートナー連携協定締結など、JISAの活動について報告した。

第二部は池谷裕二氏（脳研究者/東京大学・大学院薬学系研究科教授）による講演会「脳とAI、そして医療へ」。

池谷氏は、AIを用いて情報センサ内蔵チップの移植による脳機能の開拓や潜在的な神経情報を解読して脳にフィードバックする「脳・AI融合プロジェクト」での研究、“目を持ったような人工知能”といわれるディープラーニングが一般的にどう使われるようになってきているかとその問題点などについて解説した。



合同地区会に続けて東京D地区会が、日本電気(株)の若田俊英氏を講師に迎えて講演会「新事業成功の確度を高める事業戦略・企画の作り方」を開催し、他地区の会員にも公開した。

(赤尾)